

JET STREAM Forever

9 原色の町 Beatrice

1. ミスターロンリー	Mr. Lonely(B.Vinton/G.Allen)	2:38
2. ラ・グンバルシータ	La Cumparsita(R.Matos)	2:46
3. 原色の町	BEATRICE(M.Allen/G.Taylor)	1:13
4. アドロ	Adoro(A.Manzanera)	3:11
5. アルゼンチンよ泣かないで	Don't Cry for me Argentina(T.Rice/A.L.Webber)	2:58
6. ベサメ・ムーチョ	Besame Mucho(D.C.Veraquez)	3:30
7. 時計	El Reloj(R.Cantoral)	2:53
8. マリア・エレナ	Maria Elena(C.Barcelata)	3:13
9. コンドルは飛んで行く	El Condor Pasa(D.A.Robles/J.Milchberg)	4:42
10. 夏の嵐	SUMMER DREAM(M.Allen/G.Taylor)	1:17
11. マシュ・ケ・ナダ	Mas Que Nada(J.Ben)	3:39
12. ブラジル	Aquarela do Brazil(A.Barroso)	2:54
13. デサフィナード	Desafinado(A.C.Jobim)	3:47
14. サマー・サンバ	Summer Samba(R.Cavalla)	3:18
15. キャリオカ	Carioca(E.Eliseu/G.kahn/V.Youmans)	2:42
16. マイ・ショール	My Shawl(X.Cugat/S.Adams/P.Berrios)	3:25
17. バイヤ・コン・ディオス	Vaya Con Dios(L.Russell/J.James/B.Pepper)	3:24
18. カミニート	Caminito(J.D.Filiberio/P.G.Coria)	2:36
19. ネッカチーフ	A NECKER CHIEF(M.Allen/G.Taylor)	1:21
20. 花祭り	El Humahuqueno(E.P.Zoldivar)	3:51
21. 夢幻飛行	Midnight Cruise(R.H.Wells)	3:57

ナレーション入り

〈CDの取り扱い上のご注意〉●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽く拭き取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。〈CDの保管上のご注意〉●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用后、元のケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

城 達也 ナレーション

ミスターロンリー

遠い地平線が消えて深々とした夜の闇に心を休める時、遙か雲海の上を音もなく流れ去る気流は、たゆみない宇宙の営みを告げています。満天の星をいただく果てしない光の海を、ゆたかに流れ行く風に心を開けば、きらめく星座の物語も聞こえてくる、夜の静寂の何と饒舌のことでしょうか。光と影の境に消えて行った遥かな地平線も、臉に浮かんでまいります。

原色の町

情熱のことならベアトリスに聞かがいい。ブエノスアイレスの原色の港町に、とっぷり日が暮れる頃…いや、それではまだ早い。真夜中を過ぎて、ネオンライトのタンゴ・バーが妖しい光に染まる頃、どこかの店で彼女の歌が聴けるはずだ。ナイトツアーの観光バスが、その昔の伊達男たちの船着き場や、カミニートとよばれる小径を巡って夜ごと繰り込むところの、ボーカ地区の民謡酒場のひとつだと思えばいい。恋の鞘当てなど、日常茶飯の港町の歌姫だから、袋小路に迷いこんだ情熱の出口など、いともたやすく教えてくれると思うのだが…。

夏の嵐

リオデジャネイロの夏が、熱気球のようにふくらんで、サンバの嵐を呼ぶカーニバルだという。あれは、町中の打楽器を打ち鳴らし、怒涛の行進をくり返す四日間の熱病のことだ。前触れは既に去年からあって、若い男女がイバナマの海岸で日焼けした肌を濡らしながら、突如、けいれん的な足取りで踊りだしたりした。そして、この週末の夜明けとともに、町を取り囲む山々から、あるいは海づたいにフェリーに乗って、夢見ごちの人々が集まってくると、もう手の施しようがない。夏の嵐が荒れ狂うにまかせて、幻の気球に熱風を送り込み、ようやく四句節の朝に、原色の夢から覚めるというのだ。

ネッカチーフ

アルゼンチンの大草原は、男達の夢を飲んで、なお果てもなく広い。フランス語を話す牧場主によれば、ガウチョは男伊達の見本だったそうだ。今はブエノスアイレスの屋敷で暮らす牧場主だが、銀の拍車をびかびかに磨いて何人ものセニョリータを幸せにした。若い頃が懐かしい。銀貨を鱗のように打ちつけた幅広のベルトと、同じく銀鞘の短刀が自慢で、幾度かの決闘の跡が、銀貨の上に切り疵になって残っている。牧場主仲間のクラブへ、白塗りの豪勢なオープンカーを駆って行く時も、ネッカチーフを風になびかせて胸をはった彼は、大草原に馬を走らせている気持ちだったかもしれない。

夢幻飛行

夜間飛行のジェット機の翼に点滅するランプは、遠ざかるにつれ次第に星のまたたきと区別がつかなくなります。おくりしてありますこの音楽が、美しくあなたの夢にとけ込んで行きますように…。